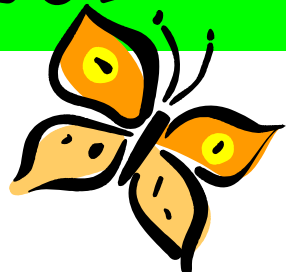


お茶の水女子大学
「魅力ある大学院教育」イニシアティブ主催
「生命情報学を使いこなせる女性人材の育成」プログラム
公開セミナー

第6回バイオインフォマティクスへの招待



バイオインフォマティクスの魅力をわかりやすく解説します。
皆さまお誘い合わせの上、ぜひご来場ください。
参加無料。申し込み不要。

使い倒し系バイオインフォマティクスによる 知のめぐりのよい生物学研究のすすめ

講師：坊農 秀雅（埼玉医科大学）

日時：平成19年3月16日（金）16:30～18:00

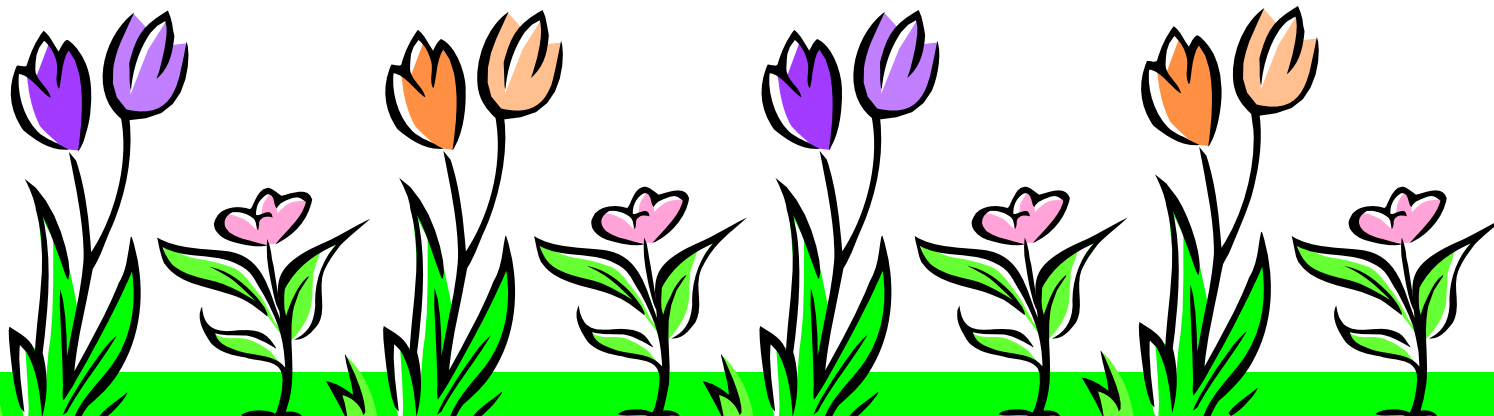
場所：理学部3号館2F理学部会議室

これまで演者は、大学院生時代にゲノム配列が解読された生物種において
予測された遺伝子すべてに対して配列情報から機能予測を行い、代謝経路の
知識をデータベースとして構築し代謝経路を「再構築」する研究を行ってきた。
その過程で遺伝子機能予測から一歩進めた遺伝子の機能アノテーションに関わり、
マイクロアレイによる遺伝子発現情報の解析に利用してきた。

現在、生物がもつシグナル伝達ネットワークの下どのようにして代謝経路が調節され、
必要な場所で必要な時期にのみ働くようになっているか解き明かすべく、
ウェットベンチ (*in vitro/in vivo*) とコンピュータ上 (*in silico*) の実験の両方を駆使する
ハイブリッドなスタイルの研究を推進してきている。

ゲノム配列やマイクロアレイデータが公共データベースとして利用可能になっているにも関わらず、
その利用は残念ながらそれほど進んでいないのが現状である。

使われていない「知」のめぐりをよくする「使い倒し系」バイオインフォマティクスについて
演者のこれまでの研究を実例に紹介する。



お問い合わせ先

お茶の水女子大学大学院イニシアティブ理工農系事務局
TEL: 03-5978-5698 E-Mail: bioinfo@cc.ocha.ac.jp